京都マラソン 2026 ランナー調査リサーチレポート



京都マラソン 2026 マネジメント･リサーチ･チーム

同志社大学スポーツ健康科学部 教授 二宮浩彰

龍谷大学経営学部 教授 松永敬子

立命館大学スポーツ健康科学部 教授 長積仁

京都マラソン実行委員会事務局

（京都市文化市民局市民スポーツ振興室）

Ⅱ．調査研究の概要

1．調査目的

本調査は、京都マラソン 2026 参加ランナーを対象として、ランニング活動、マラソン大会の評価にかかわるスポーツ消費者行動について調査することにより、今後の大会運営の改善を図るとともに、スポーツ参加者の行動様式を明らかにすることを目的としている。

2．調査内容

(1) **個人属性**：性別　年齢　居住地　職業　世帯所得　最終学歴

(2) **マラソン参加**：エントリー種目　フルマラソン完走タイム　フルマラソン参加回数　これまでに参加した京都マラソン大会

(3) **マラソン大会**：大会の満足度（全体・スタート・コース・フィニッシュ・給食）　総合的満足度　参加意欲　大会情報入手　体験伝達　参加動機
スポーツイベント CSR　地域愛着　行動意図

(4) **経済波及効果**：交通機関　所用時間　交通費　宿泊日数　宿泊場所　宿泊費　飲食費　観光娯楽費　土産代　スポーツ用品費　同伴人数

3．調査対象

「京都マラソン 2026」（2026 年 2 月 15 日開催）参加ランナー

4．調査期間

2026 年 2 月 15 日～3 月 1 日（15 日間）

5．調査方法

インターネット調査：京都マラソン 2026 公式サイトで告知し、承諾したランナーがリンク先の「京都マラソン 2026 ランナー調査」ウェブサイトにて回答を行った。

6．回収結果

有効標本数：1973 票

7．調査研究の分析枠組み

本調査研究は、京都マラソン参加者の行動様式を明らかにすることを目的としており、その研究成果を大会運営のための基礎資料として役立てることを目指している。

Ⅲ．調査研究の分析

本調査研究の枠組みでは、度数分布表、多重回答により「京都マラソン 2026」における参加者の実態を把握したうえで、記述統計により大会満足度の平均値を算出する。

表 1. 性別		(N=1973)	
男性	1606	81.4	%
女性	339	17.2	%
回答したくない	28	1.4	%

表 2. 年代		(N=1973)	
10 歳・20 歳代	142	7.2	%
30 歳代	295	14.9	%
40 歳代	547	27.8	%
50 歳代	687	34.8	%
60 歳以上	295	14.9	%
回答したくない	7	0.4	%

表 3. 最終学歴		(N=1973)	
中学校卒業	8	0.4	%
高等学校卒業	264	13.4	%
短期大学・高専・専門学校卒業または在学中	232	11.8	%
大学卒業または在学中	1123	56.9	%
大学院卒業または在学中	288	14.6	%
回答したくない	58	2.9	%

表 4. 職業		(N = 1973)	
会社員・公務員	1531	77.6%	%
自営業	114	5.8	%
主婦・主夫	12	0.6	%
会社役員	83	4.2	%
農林漁業	4	0.2	%
パート・アルバイト	97	4.9	%
学生	33	1.7	%
無職	50	2.5	%
その他	25	1.3	%
回答したくない	24	1.2	%

表 5. 世帯所得		(N = 1973)	
200 万円未満	43	2.2	%
200 万円～400 万円未満	181	9.2	%
400 万円～600 万円未満	373	18.9	%
600 万円～800 万円未満	331	16.8	%
800 万円～1000 万円未満	305	15.5	%

1000 万円～1500 万円未満	368	18.7	%
1500 万円～2000 万円未満	107	5.4	%
2000 万円以上	80	4.1	%
回答したくない	185	9.4	%

表 6. 居住地	(N=1973)		
北海道	27	1.4	%
青森県	2	0.1	%
岩手県	3	0.2	%
宮城県	9	0.5	%
秋田県	3	0.2	%
山形県	4	0.2	%
福島県	5	0.3	%
茨城県	14	0.7	%
栃木県	5	0.3	%
群馬県	5	0.3	%
埼玉県	38	1.9	%
千葉県	44	2.2	%

東京都	166	8.4 %
神奈川県	92	4.7 %
新潟県	12	0.6 %
富山県	16	0.8 %
石川県	36	1.8 %
福井県	13	0.7 %
山梨県	5	0.3 %
長野県	18	0.9 %
岐阜県	25	1.3 %
静岡県	47	2.4 %
愛知県	108	5.5 %
三重県	28	1.4 %
滋賀県	65	3.3 %
京都府（京都市）	464	23.5 %
京都府（京都市以外）	127	6.4 %
大阪府	266	13.5 %
兵庫県	132	6.7 %
奈良県	37	1.9 %
和歌山県	10	0.5 %
鳥取県	8	0.4 %
島根県	8	0.4 %
岡山県	25	1.3 %
広島県	21	1.1 %

山口県	5	0.3	%
徳島県	6	0.3	%
香川県	8	0.4	%
愛媛県	17	0.9	%
高知県	1	0.1	%
福岡県	18	0.9	%
佐賀県	1	0.1	%
熊本県	6	0.3	%
大分県	3	0.2	%
鹿児島県	4	0.2	%
沖縄県	7	0.4	%
回答したくない	9	0.5	%

表 7. エントリー種目		(N=1973)	
マラソン（一般)	1888	95.7	%
マラソン（ふるさと納税)	36	1.8	%
ペア駅伝（一般)	48	2.4	%
ペア駅伝（ふるさと納税)	1	0.1	%

表 8. フルマラソン完走タイム<自己ベスト > (京都マラソン 2026 の記録を含む)	(N=1973)

完走経験なし	170	8.6
2 時間 30 分未満	3	0.2
2 時間 30 分～3 時間未満	88	4.5
3 時間～3 時間 30 分未満	228	11.6
3 時間 30 分～4 時間未満	489	24.8
4 時間～4 時間 30 分未満	400	20.3
4 時間 30 分～5 時間未満	280	14.2
5 時間～5 時間 30 分未満	185	9.4
5 時間 30 分～6 時間未満	118	6
6 時間以上	12	0.6

表 9. フルマラソン参加回数 (N=1973)

0 回	116	5.9	%
1 回	170	8.6	%
2 回	156	7.9	%
3 回	136	6.9	%
4～6 回	336	17	%
7～9 回	207	10.5	%
10～19 回	453	23	%
20～29 回	193	9.8	%
30～39 回	101	5.1	%
40～49 回	32	1.6	%
50 回以上	73	3.7	%

表 14. これまでに参加した京都マラソン大会	複数回答	(N=3414)
京都マラソン 2012	70	2.1%
京都マラソン 2013	95	2.8%
京都マラソン 2014	127	3.7%
京都マラソン 2015	144	4.2%
京都マラソン 2016	161	4.7%
京都マラソン 2017	174	5.1%
京都マラソン 2018	189	5.5%
京都マラソン 2019	241	7.1%
京都マラソン 2020	246	7.2%
京都マラソンおんらいん 2021～2024	204	6.0%
京都マラソン 2023	464	13.6%
京都マラソン 2024	595	17.4%
京都マラソン 2025	704	20.6%

表 15. 良かった給食メニュー（コース、フィニッシュ）	複数回答	(N=10395)
いちご	1169	11.2%
ミニトマト	724	7.0%
バナナ	993	9.6%
天巻き	410	3.9%
いちごソフト	74	0.7%
塩分チャージタブレッツ	651	6.3%
ラムネ	232	2.2%
雪の宿	285	2.7%
姫千寿せんべい(有機抹茶)	480	4.6%
チョコレートなどの混載お菓子	283	2.7%
京ばあむ	922	8.9%
都こんぶ	212	2.0%
つじりのさと	351	3.4%
おにぎり(フィニッシュ)	1343	12.9%
ボディメンテゼリー(フィニッシュ)	1089	10.5%
茶の菓(フィニッシュ)	1177	11.3%

表 18. 京都マラソン 2026 に参加した理由	複数回答	(N=4607)
京都や京都マラソンが好きだから	1283	27.8%
観光名所を走ることができるコースだから	907	19.7%
日程があったから	577	12.5%
自宅から近いから	674	14.6%
記録が出やすそうだから	39	0.8%
ＤＯ　ＹＯＵ　ＫＹＯＴＯ? マラソンに共感したから	62	1.3%
マラソンの前後に京都観光ができるから	389	8.4%
参加権や参加料をふるさと納税で支払うことができたから	25	0.5%
ふるさと納税枠限定の特典があったから	13	0.3%
冠協賛（スーパーマリオ 40 周年）の決定があったから	381	8.3%
その他	257	5.6%

表 19. 京都マラソン大会の情報入手	複数回答	(N=3232)
広報紙(市民しんぶん)	128	4.0%
新聞	54	1.7%
テレビ番組	19	0.6%
書籍・雑誌	41	1.3%
ポスター・広告	204	6.3%
チラシ	79	2.4%
告知イベント	75	2.3%
友人・知人・家族	250	7.7%
学校・会社	46	1.4%
指導者・コーチ	9	0.3%
スポーツショップ・フィットネスクラブのスタッフ	14	0.4%

公式ウェブサイト	1359	42.0%
Facebook	185	5.7%
公式X	216	6.7%
公式 Instagram	308	9.5%
その他	245	7.6%

表 20. クチコミ相手	複数回答	(N=3567)
家族や友人との会話	1782	50.0%
ランニング仲間や関係者との会話	944	26.5%
ランニングサイト（RUNNET、走ろう.com など）の個人による投稿	162	4.5%
SNS（Facebook、X、LINE、Instagram、YouTube、など）の個人による投稿	598	16.8%
まったく体験を伝えようとは思わない	33	0.9%
その他	48	1.3%

表 21. 京都マラソンの満足度（大会全体） （1＝不満足　～　5＝満足）	n	平均値	標準偏差
制限時間	1956	4.40	0.967
定員	1950	4.02	1.139
エントリー・抽選	1951	3.31	1.478
京都市民枠	1216	3.56	1.125
大会参加料	1956	2.91	1.240

参加案内	1954	3.96	1.153
ランナー受付（日時）	1966	4.23	1.083
ランナー受付（会場・アクセス）	1969	4.12	1.123
おこしやす広場（企業ブースなど）	1961	4.00	1.073
大会プログラム	1961	3.99	1.134
参加賞	1946	3.84	1.239
スタッフ・ボランティアの対応	1959	4.81	0.554
医療救護対応	1412	4.47	0.821
大会の運営状況	1951	4.27	1.013
ふるさと納税枠特典（当日受付、特別更衣室、フォトスポットの御用意など）	822	3.56	1.010
沿道の応援、盛り上げ隊	1960	4.76	0.602

表 22. 京都マラソンの満足度（スタート）
（1＝不満足　～　5＝満足）

	n	平均値	標準偏差
スタート会場へのアクセス	1966	4.42	0.919
スタート会場の案内サイン	1962	4.45	0.862
スタートの更衣スペース	1696	4.12	1.054
手荷物預かり	1936	4.61	0.739
スタートのトイレの数	1924	3.82	1.304
スタートでの防寒着の着用（回収後のリユース・リサイクル）	1685	4.51	0.790
整列ブロック	1956	4.21	1.109

表 23. 京都マラソンの満足度（コース）
（1＝不満足　～　5＝満足）

	n	平均値	標準偏差
コース設定（景観・コース幅などを総合的に）	1967	3.82	1.254
トイレの数、トイレ案内	1821	4.18	1.029
給水・給食箇所、給水・給食サイン	1967	4.18	1.086
コース上のゴミ箱	1962	4.48	0.859
コース上の清掃（ごみが散乱していないかなど）	1966	4.44	0.851
歩行者横断対策	1952	4.37	0.915

表 24. 京都マラソンの満足度（フィニッシュ）
（1＝不満足　～　5＝満足）

	n	平均値	標準偏差
ランナー動線	1939	4.31	0.981
トイレ数、トイレ案内	1800	4.21	0.998
フィニッシュの給水、給食	1931	4.24	1.022
フィニッシャータオル	1965	4.35	1.070
完走メダル	1919	4.56	0.869
WEB 完走証	1910	4.45	0.911
手荷物返却	1935	4.72	0.655
フィニッシュ会場の更衣スペース	1860	4.07	1.127
フィニッシュ会場のトイレ	1700	4.08	1.040
フィニッシュ会場の案内サイン	1927	4.14	1.036
おつかれさま広場（みそ汁サービス）	1424	4.02	1.206
おつかれさま広場(マッサージ師によるマッサージ・鍼)	981	3.57	1.192
おつかれさま広場（低周波治療器）参考:オムロンブース	922	3.60	1.054

おつかれさま広場（おもてなし屋台)	1235	3.78	1.062
フィニッシュ会場からのアクセス（地下鉄等の公共交通)	1781	3.66	1.227
フィニッシュ会場からのアクセス（シャトルバス)	1000	3.77	1.205

表 25.「京都マラソン 2026」の総合的満足度/次回の参加意欲	(N=1973)	平均値	標準偏差
「京都マラソン 2026」総合的満足度		83.99	16.798
「京都マラソン 2027」への参加意欲		78.44	26.886

京都マラソン 2026 マネジメント・リサーチ・チーム

同志社大学スポーツ健康科学部　教授　二宮浩彰

龍谷大学経営学部　教授　松永敬子

立命館大学スポーツ健康科学部　教授　長積　仁

データ分析チーム

同志社大学スポーツ部健康科学部スポーツ・マーケティング研究室

マラソン調査研究チーム

研究代表　二宮浩彰

関皓言